

令和元年度 歳入歳出決算



本町の令和元年度の決算が9月定例議会で認定されました。

町民の皆さんに納めていただいた税金や国・県からの支出金、地方交付税などの収入とそれらの支出先をお知らせいたします。

問合せ：総合政策課財政係 251238

一般会計

歳入決算額は前年度（102億239万円）に比べ8.2%の増の110億3592万円になりました。公立保育所の整備に地方債を活用したことにより、地方債が前年度に比べ98.9%の増、農業振興関連の県補助事業の増加などにより、県支出金が55.2%の増となったことが主な要因です。

歳出決算額は前年度（93億7974万円）に比べ11.2%の増の104億3375万円となりました。空の杜保育園の建設などにより民生費が8.1%の増、児玉工業団地アクセス道路整備事業などにより土木費が30.5%の増となったことが主な要因です。

その他の事業として、神保原小学校、賀美小学校、上里北中学校において、児童・生徒が安全に学べる学習環境の整備を図るため、施設改修を行いました。

◆令和元年度の主な事業と決算額

項目	事業名	金額	事業内容
総務費	埼玉県知事選挙事業	997万円	埼玉県知事選挙執行に伴い、事前準備、期日前投票、当日の投開票等に関する事務を行いました。
	参議院議員通常選挙事業	1,005万円	参議院議員通常選挙執行に伴い、事前準備、期日前投票、当日の投開票等に関する事務を行いました。
民生費	公立保育所整備事業	4億8,600万円	令和2年4月の開園に向け、上里町立空の杜保育園を建設しました。
	プレミアム付商品券事業	1,745万円	消費税増税に伴い地域の消費喚起・下支えをするため、プレミアム付商品券の発行・販売等を行いました。
衛生費	児玉都市広域市町村圏組合清掃施設運営事業	1億7,713万円	一部事務組合が運営するごみ処理施設等の管理・運営に要する費用の一部を負担しました。
	予防対策事業	1億3,038万円	各種予防接種の委託事業や、健康診査等の健康増進事業を行いました。
農林水産業費	農業振興事業	3億7,174万円	新規就農や環境保全型農業に取り組む農業者への支援および認定農業者など担い手農家の育成等に取り組みました。
	土地改良推進事業	4,216万円	土地改良関係団体に負担金・補助金を交付し、土地改良事業の推進を図りました。
土木費	道路新設改良事業	1億4,311万円	道路環境整備を図るため、道路改良工事や舗装工事を行いました。
	児玉工業団地アクセス道路事業	1億2,707万円	用地取得や道路整備など、事業の推進を図りました。
消防費	児玉都市広域市町村圏組合消防事業	3億6,298万円	一部事務組合に対し、消防本部運営に要する経費の一部を負担しました。
	災害対策事業	1億2,937万円	防災備蓄品等の購入や、防災行政無線のデジタル化整備工事等を推進しました。
教育費	本庄上里学校給食組合運営事業	1億8,387万円	本庄上里学校給食組合の運営に要する経費の一部を負担しました。
	体育施設管理運営事業	5,848万円	上里中学校校庭の夜間照明のLED化工事を行いました。

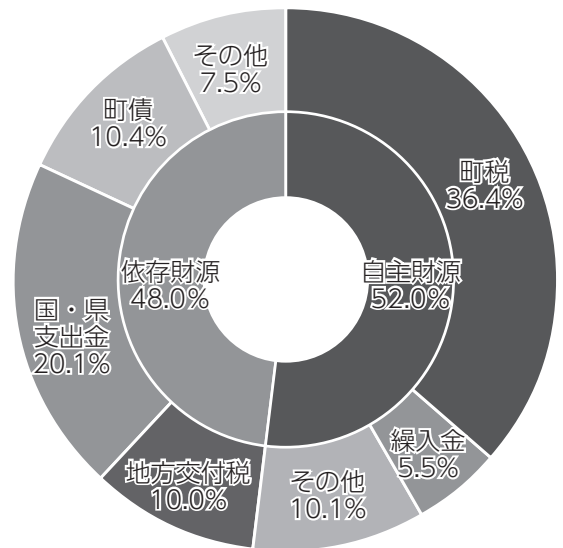
また、医療費の無償化対象を中学校卒業年齢から高校卒業相当年齢に拡大し、子育て世帯への支援充実を図りました。

今後も、安定的な行財政運営のため、徹底した事業選択により施策の重点化や行政のスリム化を図ります。

一般会計歳入 110 億 3,592 万円

◆歳入決算額内訳

項目		決算額	増減額	増減率
自主財源	町税(町民税等)	40億1,583万円	6,147万円	1.6%
	繰入金 (基金からの繰入)	6億1,205万円	△1億798万円	△15.0%
	その他 (前年度繰越金、手数料等)	11億1,437万円	970万円	0.9%
依存財源	地方交付税	11億231万円	1,152万円	1.1%
	国・県支出金	22億1,442万円	2億6,085万円	13.4%
	町債	11億5,084万円	5億7,224万円	98.9%
	その他 (地方消費税交付金等)	8億2,610万円	2,573万円	3.2%



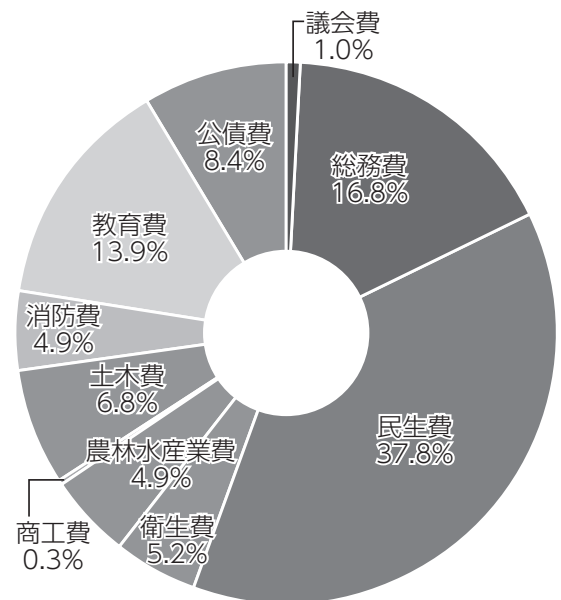
用語解説 (歳入関係)

- ▶ **自主財源**／町税や施設使用料など、町が自らの収入とすることができる財源
- ▶ **依存財源**／地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源と借入金
- ▶ **地方交付税**／地方公共団体の収支不足や不均等を是正するために国から交付されるお金
- ▶ **国・県支出金**／事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金
- ▶ **町債**／事業を行うために、町が国や金融機関から借りるお金

一般会計歳出 104 億 3,375 万円

◆歳出決算額内訳

項目	決算額	増減額	増減率
議会費 (議会の運営費等の経費)	1 億182万円	669万円	7.0%
総務費 (住民票の交付・町税の課税徴収、選挙などの全般的な管理事務経費)	17億5,373万円	2億5,964万円	17.4%
民生費 (高齢者・児童・障害者福祉全般の経費)	39億4,656万円	2億9,627万円	8.1%
衛生費 (健康増進やごみ処理などに対する経費)	5億4,008万円	6,186万円	12.9%
農林水産業費 (農業や畜産業の振興などに対する経費)	5億1,318万円	3億1,470万円	158.6%
商工費 (商工業・観光に対する経費)	3,312万円	△2,024万円	△37.9%
土木費 (道路や河川、公園整備などの経費)	7億569万円	1億6,509万円	30.5%
消防費 (消防・防災に対する経費)	5億1,528万円	5,229万円	11.3%



項目	決算額	増減額	増減率
教育費 (学校教育や社会教育に対する経費)	14 億 5,023 万円	△ 7,345 万円	△ 4.8%
公債費 (町が借りたお金の返済金)	8 億 7,290 万円	△ 903 万円	△ 1.0%
諸支出金 (基金への積立など)	116 万円	19 万円	19.6%

令和元年度一般会計歳入歳出決算額を **町民1人当たり** に換算すると

町民1人が**負担した金額**
129,954 円

町民1人に**使われた金額**
337,640 円

内訳		商工費	1,072 円
議会費	3,295 円	土木費	22,836 円
総務費	56,751 円	消防費	16,675 円
民生費	127,712 円	教育費	46,930 円
衛生費	17,477 円	公債費	28,247 円
農林水産業費	16,607 円	諸支出金	38 円

※町税40億1,583万円、支出合計104億3,375万円
令和2年3月31日現在の総人口30,902人で計算



公立保育所整備事業
上里町立空の杜保育園



災害対策事業
防災行政無線デジタル化整備工事

一般寄附金

令和元年度については、549件7,628,000円の一般寄附金があり、下記のとおり受領しました。

◆一般寄附金の状況

使い道	充当先事業	金額
かみさとブランドの確立	農業振興事業	270,000円
町の魅力を全国へ情報発信	イメージアップ推進事業	80,000円
妊娠と出産の支援	母子衛生事業	290,000円
子育てしやすい環境の整備	地域子ども・子育て支援事業	1,170,000円
未来を担う子どもたちへの教育支援	学力向上推進事業	750,000円
安心安全で暮らしやすいまちづくり	交通安全対策事業	245,000円
町長が必要と認める事業	農業振興事業等	4,823,000円

町の基金残高

基金は、家計で言う貯金のことです。今後も決算状況を踏まえ、可能な範囲での積立を行います。

◆町の基金残高の状況（令和元年度末）

基金の名称	残高
財政調整基金	10億1,174万円
減債基金	8億166万円
公共施設等用地取得及び施設整備基金	12億1,215万円
いきいき福祉基金	4億5,389万円
教育施設整備基金	10億846万円
土地開発基金	2億138万円
奨学資金貸付基金	1億104万円

消費税引き上げ分の地方消費税（社会保障財源分）の用途について

平成26年4月1日から消費税および地方消費税が5%から8%、令和元年10月1日から10%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その用途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

◆歳入

引上げ分の地方消費税収	2億1,115万円
-------------	-----------

◆歳出

社会福祉関係事業	16億1,875万円
社会保険関係事業	9億5,329万円
保健衛生関係事業	4,782万円

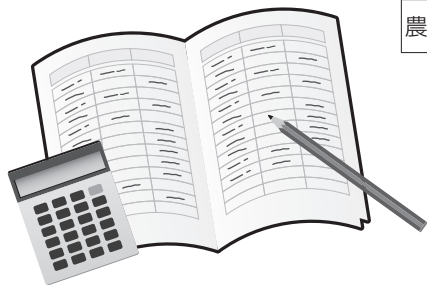


特別会計

町の会計には、一般会計とは別に、特定の収入で特定の支出を賄う「特別会計」があります。この特別会計は、事業の収支を明確にするため、それぞれの会計で決算が行われています。

◆特別会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	32億5,996万円	31億6,503万円
介護保険	18億8,361万円	18億2,218万円
後期高齢者医療	2億8,238万円	2億7,985万円
農業集落排水事業	1,644万円	1,469万円



企業会計

地方公営企業法に基づき経理され、利用料金などで運営されています。

◆上里町下水道事業決算

区分	収入決算額	支出決算額
収益的収入および支出	2億3,390万円	2億2,859万円
資本的収入および支出	1億623万円	1億9,064万円

※資本的収支不足額は、下水道事業会計の内部留保資金などで賄っています。

◆上里町水道事業決算

区分	収入決算額	支出決算額
収益的収入および支出	5億5,437万円	4億7,570万円
資本的収入および支出	1億2,079万円	3億6,651万円

※資本的収支不足額は、水道事業会計の内部留保資金などで賄っています。

財政状況

全項目で健全化基準をクリア

財政状況が良好かどうかを示す指標に、健全化判断比率（4分類）と資金不足比率があります。

国が示すこの指標の判断基準により、町の財政が健全団体か早期健全化団体（要注意状態）か財政再生団体（破たん状態）のいずれの状態にあるか、また各会計の経営がどういう状態であるかを判断することができます。

この指標のうち一つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化に向け取り組んでいく必要があります。

上里町では、自治体の財政破たんを未然に防ぐための、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）に基づき、下記の財政指標を公表します。

各指標とも昨年同様に、基準を下回っており、財政の健全が保たれていることを示していますが、今後も引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政の健全化に取り組んでいきます。

(単位：％)

◆健全化判断比率

指標名	上里町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	14.44	20.0
連結実質赤字比率	赤字なし	19.44	30.0
実質公債費比率	8.1	25.0	35.0
将来負担比率	－	350.0	－

(単位：％)

◆公営企業における資金不足比率

会計名	上里町	早期健全化基準
上里町水道事業	資金不足なし	20.0
公共下水道事業	資金不足なし	20.0
農業集落排水事業	資金不足なし	20.0

【用語解説】

実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計等の赤字の割合
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する町の全会計の赤字の割合
実質公債費比率	標準財政規模に対する一般会計等の借入金返済額の割合
将来負担比率	標準財政規模に対する一般会計等が将来負担すべき負債の割合

※標準財政規模とは、地方税や普通交付税など通常経常的に収入される一般財源で、令和元年度は60億1,239万円です。